

平成24年4月10日  
総務局

## 東京都防災会議地震部会（第7回）の開催結果について

標記会議の結果について、下記のとおりお知らせします。

### 記

#### 1 日時

平成24年4月9日（月）午前10時00分から午前12時10分まで

#### 2 場所

東京都庁第一本庁舎北塔33階 特別会議室N2

#### 3 開催結果

被害想定結果等について、専門委員による討議を行いました。（別紙参照）

問い合わせ先  
総務局総合防災部防災管理課  
電話 03-5388-2537

## 東京都防災会議地震部会（第7回）における討議の骨子

### <被害想定結果について>

- 風速が弱くても、初期消火に失敗して燃え広がり出すと、被害が拡大するということが、東京の木造住宅密集市街地の特性として現れている。
- 長周期地震動による被害については、東北地方太平洋沖地震発生時の東京での長周期地震動による影響と比較すると、理解しやすいのではないか。
- 住宅の密集度が高いなどで、火災が多くなっていることや、地盤が悪いことなどの想定結果を区市町村の防災計画につなげていく必要があるのではないか。
- 前回の想定結果との差については、古い木造家屋が減って、耐震化が進んだり、不燃化が進んだことにより被害が減ったということ、手法が精緻になったこと、また、想定対象の地震像が変わったので、それに対応して変わったなど、大きく分けると3つぐらいの理由があると思う。